

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

平成 27 年 (2015)

皇紀 2675 年

主な目次

大宮八幡祭り(秋の大祭)号【第 103 号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

サイパン・テニアン慰霊の旅……………	2～4 頁
大宮八幡祭り(秋の大祭)のご案内…	5 頁
十五夜の神遊び……………	6 頁
御鎮座 950 年式年奉祝記念事業……	7 頁
杜の話題……………	8～10 頁
大宮八幡の杜 秋も深まり……………	11 頁
初宮詣芳名・どんぐり通信……	12・13 頁
大宮八幡祭り社頭風景……………	14 頁



仲秋の名月に数々の竹灯を並べて 一十五夜の神遊び (9月27日)

サイパン・テニアン慰霊の旅

宮司 鎌日 紀彦

大東亜戦争終結70年にあたり宮内庁は8月1日、昭和天皇様が国民に伝えられたいわゆる玉音放送の原盤とお声（音声）また、天皇がその放送をお聴きになった皇居内地下壕（防空施設）の御文庫付属室（御休所）や終戦のご聖断を下された御前会議の開かれた部屋の写真などを公開しました。

これは終結70年がこの時より始まったのであり、ご聖断の緊迫感と終戦間際の重要な舞台となった原点を決して風化させてはならないという、今上陛下の大御心より公開されたと拝察させて頂いております。

特に両陛下の戦没者への慰霊の念は強く、終戦50年（平成7年）には広島・長崎・沖縄・東京で、その前年には小笠原、硫黄島での慰霊の行幸啓がありました。その当時から南太平洋の島々で戦時下に亡くなった多くの人々のことを心に掛けられていたようですが、外地のことでありなかなか実現出来ず、ようやく終戦60年（平成17年）、サイパン訪問への道が開かれ、今年の大東亜戦争終結70年に当たり4月8日、9日とパラオ共和国に行幸啓されたのであります。

10年前サイパン島へ行幸啓される際の天皇陛下のおことばとして『この度海外の地において、改めて先の大戦によつて命を失ったすべての人々を追悼し遺族の歩んできた苦難の道を偲び、世界の平和を祈りたいと思います。私も皆が、今日の我が国がこの様な多くの人々の犠牲の上に築かれていることを、これからも常に心して歩んでいきたいものと思います。』と述べられています。

6月初旬、丁巳会（会長 平石宮司・東京都神職有志の会）の海外研修旅行として終結70年に当たり、サイパン・テニアンの慰霊の旅に会員の一人として参加させて頂きました。現在米国の自治領である北マリアナ

諸島のサイパン島は、かつてスペイン領、次いでドイツ領となっていました。第一次世界大戦後のパリ講和会議で、正式に日本の委任統治領となりました。

国際連盟による日本の南洋委任統治が決定すると日本政府は大正11年（1922）にパラオに南洋統治の行政機関「南洋庁」を設置し、サイパンには「南洋庁サイパン支庁」が置かれました。

日本本土から多くの移民が移り住み、パラオには人口が3万人を超えて原住民約6,500名を上回ったといえます。

また、サイパンにも邦人が移り住み最盛期には沖縄や韓半島出身者を含め3万人に膨れ上がり島の人々の9割を占め、サイパン島は昭和20年（1945）まで実質上の日本の統治下にありました。そうして砂糖産業や農業漁業に従事していました。

大東亜戦争が始まるや、サイパン、パラオの諸島は前線基地となり日本軍の将兵が守っておりまし。昭和19年6月19日、米国軍がサイパン島へ上陸してきた時には既に制空権、制海権が奪われており、多数の在留邦人は帰国出来ない状況になっておりました。

この様な状態の中で激戦が行われたため、7月7日日本軍が玉砕するまでに陸海軍の兵士約4万3千名と在留邦人1万2千名の命が失われました。また、この戦場で米国軍にも3,500名に近い戦死者があり、また900名を超えるサイパン島民が戦闘の犠牲となりました。韓半島出身者も落命されておられるとのことでありました。

私も参加者11名は71年前の激しい戦争のことを思いつつ、慰霊の旅に出掛けました。先ず成田空港を飛びたち約3時間35分でサイパン空港に到着。入国手続きを経て専用車で市内視察となりサイパンの中心地ガラパンへ向かいました。車窓より見る街路樹のフレイ

ムツリー（南洋桜、火炎樹）が満開で鮮やかな赤い花が緑に映えて美しく、かつて邦人等も南洋桜の花見をして楽しんだといえます。

ガラパンの中心に位置するアメリカ記念公園へ、中央には米国軍の慰霊碑があり、ビジネスセンターでは戦時中の歴史的な資料や写真が展示され、記録映画も放映されていました。

次いで彩帆香取神社を参拝。このお社は香取神社連合会により昭和60年（1985）に再建され、時の香取神宮額賀大成宮司揮毫の社号標が建っていました。また、平成23年には御鎮座百年祭が斎行されたとの事でありま



彩帆香取神社



「砂糖王」
松江春次の像

2日目は5名前後乗りセスナ機に分乗しテニアン島へ10分間のフライト。この島は参加会員の岡部宮司の

ご尊父様が出征され玉砕された島であり、先代のご母堂様（戦後の女子神職の先駆者）も何れの日にか訪れたいという悲願があり、また、ご本人（岡部宮司）の誕生の時にご尊父様の命日であり、お姿を全くご存知ないとのこと、ご母堂様の遺影を持参されていました。

テニアン空港よりブロードウェイを南下、車窓より見る眺めは「タガンタガン」というカリブ海原産の植物が至る所に生い茂りジャングル状態でした。島全体が青々として一見美しく見えますが、これは島内の戦没者が多くその処理に困りカモフラージュする為に米軍がこの植物の種子を島中に空中散布したとの事。その後70年島全体がジャングル化してしまっているのです。因みにこの木はバーベキューの燃料の他使い道のない木といわれています。

次いで、古代民族チャモロ・タガ遺跡（約3,500年前のもの）と推定。直方体の石柱の上にお碗形の石を載いたもので、タガ・ストーンと呼ばれ、石柱の高さ約41メートル、敷石の高さ約17メートル、かつては6基ずつ2列に並べられていたが、1基を除きすべて壊れている。を眺め、やがてテニアン島のスーサイドクリフと呼ばれているところに到着。日本人戦没者慰霊碑が建ち並び、海側のところに鳥居のある神道系の慰霊碑の前で、日本より持参の神饌を供え、岡部宮司の先導に依り英霊を始め亡くなられた方々の慰霊と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈り拝礼致し、参加者の神道婦人会の方々とともに「故郷」など懐かしい唱歌を声高らかに奉唱させて頂きました。一連の拝礼行事が執り納められる頃、後方の断崖の山の方から小鳥たちが飛来して囀っていました。また、南の方が暗くなっており、ガイドさんからスコールが来るから早くとせかさ



日本人戦没者慰霊碑前にて拝礼

午後再びサイパンへ移動、専用車で島内の視察となり、



原子爆弾積荷場

韓国人慰霊平和塔が当時サイパンで犠牲となられた韓国人約700名の慰霊の為建立されており、国旗掲揚塔には米国旗、サイパン自治領旗、韓国旗が掲揚されており。わが日本国の掲揚塔ではロープが切



中部太平洋戦没者の碑

れ、片付けを急いで済ませて、車中の人となった頃、雨が降って来ましたが、諸英霊等が私どもの真心をご嘉納され感応の雨を降らせて頂いたような気が致しました。



日の出神社鳥居と南洋桜

次いで、北マリアナ博物館を臨時休館日でしたが、見学することができました。かつての日本病院の建物で大正15年（1926）当時ミクロネシアで最も近代的な医療機関であったといえます。サイパンや北マリアナ諸島の歴史的な写真や絵画を中心に貴重な展示物が並んでいました。

第3日（最終日）、車でサイパン北部地区へ。北部はエメラルドグリーン海と美しい海岸線の続く景勝の地でありますが、戦況厳しくなり一般邦人は島内を北へ北へと避難し、多くの犠牲者のあった地域でもあり、当時の悲しい史実を物語る戦跡地が点在しています。先ず、一行は昭和49年（1974）3月に日本政府によって建てられた**中部太平洋戦没者の碑**に詣でました。生憎雨が降っていましたので車で少し待機していますと、お清めの雨のごとく小雨となりました。碑のそばへ進むと、石灯籠が左右に配され日本風の石庭が造られておりました。日本より持参のお供物が献じられ、一同で参拝後各自各々献水して拝礼、軍人だけでなく多くの人々の御霊に哀悼の誠を捧げお慰め致し世界の平和をお祈り致しました。付近には**おきなわの塔**が犠牲となられた沖縄県民の霊を慰める為に昭和43年（1968）、当時の琉球政府によって建立されておりました。その隣には

大宮八幡祭り(秋の大祭)

例祭、氏子奉幣祭、第30回 神輿合同宮入り

大宮八幡祭りのハイライト、今年の**神輿合同宮入り**は第30回を記念して20日の夕刻、大宮八幡入口に9基の神輿が集結致します。午後6時、木遣りの音頭を合図に順々にご発輿となり八幡前通りを巡行し、更に多勢の参拝者で賑わう表参道を渡御します。7時20分頃より神門を次々と潜り大前に参入します。社殿前の所定の位置に9基が揃い、神輿振りが一斉に繰り広げられると、境内は興奮の坩堝に包まれます。その様子は将に圧巻で城西随一といわれています。

第30回 神輿合同宮入り



神社本庁幣を奉じて献幣使参進 (15日)

夏の熱い日差しも和らぎ、実りの秋を迎え恒例の**大宮八幡祭り**が行われます。本年はまず15日午前10時より献幣使参向のもと**例祭**を斎行。神社本庁より幣帛が大前に献ぜられます。秋の実りに感謝し、皇室と国家の隆昌、合せて氏子・崇敬者の安泰を祈念します。19日夕刻6時に**宵宮祭**を斎行。20日午前10時より**氏子奉幣祭**が執り行われ、大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の6地区の氏子より寄せられたご浄財が氏子幣として大前に奉献されます。氏子各地区の神輿の社参もあり、さらに夕刻6時の第30回**神輿合同宮入り**では暗闇の中、氏子6地区から9基の神輿が一斉に宮入りして祭りは最高潮に達します。このほか19日には大宮幼稚園園児の民謡踊り・方南エイサー・杉並太鼓の各奉納、また20日午後には小笠原流宗家による弓の神事**草鹿式**など期間中は様々な神賑行事が奉納されます。清涼殿ロビーでは9日より23日まで、重陽の節句飾り**菊被綿**が展示されます。



大宮八幡祭り期間中の祭事

例祭	9月8日夕刻〜翌朝	9月15日
菊被綿神事		
神輿神霊入れ祭	9月18日	
若宮八幡神社		
白幡宮	例祭	
各神幸所清祓・宮司巡拝	9月19日	
宵宮祭	9月19日	
氏子奉幣祭	9月19日	
第30回 神輿合同宮入り	9月20日	
神輿神霊返し祭	9月21日	
後朝祭(直会ノ儀)	9月21日	

神賑行事

秋の弓道奉納射会	9月6日
第17回 菊被綿飾り奉納書画行燈	9月9日〜23日
献燈提灯	9月9日〜27日
大宮幼稚園 園児神輿宮入り	9月15日
大宮幼稚園 園児民謡踊り	9月19日
方南エイサー踊り	9月19日
杉並太鼓	9月19日
スカウトバザー	9月20日
町内神輿渡御・社参(昼間)	9月20日
スカウト神輿宮入り	9月20日
小笠原流草鹿式	9月20日
高井戸囃子	9月20日
奉茶(裏千家) (※東京第七支部)	9月20日
奉茶(裏千家)	9月20日
舞点茶会(裏千家)	9月20日
盆裁展示会	9月20日
第37回 献華いけばな小原流展	9月18日〜21日
露店(120店)	9月19日〜21日

十五夜の神遊び(仲秋祭) 9月27日



旧日本軍最後の司令部のトーチカ



旧日本軍の砲台

の歌碑が東久邇信彦書により建立されており、些か寂しい思いが致しました。
平成17年(2005年)、サイパンへ慰霊の行幸啓時の
サイパンに 戦ひし人 その様を
浜辺に伏して 我らに語り
いまはとて 島東ての崖 踏みけりし
をみな足の裏 思へばかなし
の歌碑が東久邇信彦書により建立されており、些か寂しい思いが致しました。
平成17年(2005年)、サイパンへ慰霊の行幸啓時の

サイパン行幸啓の御製と御歌



バンザイクリフ

の御製碑が同じく東久邇信彦氏の筆で建立されていました。この後、スーサイドクリフへ。標高249メートルのマツピ山の北側は切り立った断崖で、バンザイクリフと同様にこの断崖でも追い詰められた邦人等が投身して自決した所です。その頂上は平和記念公園となっており公園の中央に十字架を背にした観音様が祀られています。展望台からは太平洋が一望でき、ここでも「タガンタガン」の緑のジャングルの中に旧日本軍飛行場跡を見渡すことができます。零戦基地として造られましたが、完成後1機も飛び立つことはなかったといわれています。帰りはバードアイランドに立ち寄りました。海鳥たちの楽園で石灰岩肌の島で鳥達が巣を作るのに格好の穴が無数あり、日没には多くの海鳥が群れ集まります。別名「月見島」とも呼ばれ、日本の委任統治領の時には、高知の桂浜に匹敵する月見の名所として在留邦人等に親しまれたことから命名されたといわれています。



バードアイランド、別名「月見島」



慰霊参拝のあとで



『御』は御本社の仮神座へ

『御』は御本社の仮神座へ
へとお遷りになり、仮遷座奉告祭が斎行されまし
た。工期は8月末日の予定で進められています。



御本殿「仮遷座祭」



振武殿神殿「仮遷座奉告祭」

御鎮座九百五十年式
年奉祝記念事業のひとつである弓道場振武殿
の屋根葺替増改築工事が
いよいよ始まりまし
た。大宮八幡宮振武殿
は昭和15年に額殿とし
て建てられ、戦後幼稚
園園舎となり、現在弓
道場として活用されて
います。神域にある弓



振武殿改修工事清祓の儀

御鎮座九百五十年式年奉祝記念事業 大宮八幡宮弓道場振武殿屋根葺替増改修工事

第17回 重陽の節句飾り

きくのきせわた
「菊被綿」



菊被綿は、重陽の節句前日の9月8日に菊の花を白、赤、黄の真綿で覆って菊の香りを移し、9日当日早朝に朝露で湿った真綿を顔にあてて若さを保とうとするもので、古代中国では、菊は仙境に咲く花で破邪延寿の効能があると信じられ、平安時代前期の宇多天皇の御代に宮中行事に取り入れられ、幕末まで行われていました。当宮では、8日夕刻に菊被綿神事を斎行し、菊被綿飾りを9月9日より23日まで清涼殿で展示します。

仲秋の名月

第15回 十五夜の神遊び・月の音舞台



9月27日(日)は旧暦8月15日、仲秋の名月に合わせて、第15回「十五夜の神遊び」が斎行されます。神遊びとは神慰め、神楽、神祭りを意味します。夕刻にはまず陪観の人々によつて竹灯約1,200基に火が灯され、仲秋祭が斎行されます。その後、神楽殿で雅楽・神楽舞の奉奏に続いて、月の音舞台となります。演奏は昨年に引き続き広く国内外で注目を集める尺八奏者「き乃はち」氏です。き乃はち氏の尺八の調べは、名月に照らされながら、虫の音とともに鎮守の杜に響き渡り深く静かに心に染み渡ります。また、清涼殿ではこの日に因んだ特選料理「月見御膳」をご賞味いただく月見の宴(予約制)も催されます。

料理「月見御膳」をご賞味いただく月見の宴(予約制)も催されます。



月見の宴

尺八奏者「き乃はち」氏

「月見の宴」のご案内

清涼殿では、「十五夜の神遊び」に因んだ特選料理『月見御膳』をご賞味頂く「月見の宴」を月の音舞台奉奏後(午後8時頃より)開催します。

名月を愛で、古式ゆかしい雅楽・神楽の調べや尺八の演奏をお楽しみ頂いた後、十五夜の雅と幽玄の余韻の中、「月見の宴」をお楽しみ頂きますようご案内申し上げます。

定員になり次第締切りとなりますので、お早めにお申し込み下さい。

※雨でも「十五夜の神遊び・月の音舞台」は行われます。

【月見御膳】◎御神酒付

お一人様 5,900円(税込)
『月の音舞台陪観指定席』含む
限定1000名



お申し込み・お問い合わせは

大宮八幡宮 清涼殿まで

03(3312)7515

第2回 フォトコンテスト

昨年に引き続き第2回「フォトコンテスト」を開催するにあたり、平成26年5月1日より、締切りを延長して平成27年7月31日まで作品を募集しました。近隣の写真店にも協力いただき作品が集まりました。これより厳正なる審査で優秀作品を選考し、9月初旬には表彰式を行い、秋の大祭期間中に各作品を展示致します。

御鎮座九百五十年式年奉賛者芳名簿(その9)

平成27年4月1日～平成27年7月31日

(※万円以上のみ掲出、敬称略、順不同)

大宮地区

一金壹拾伍萬円

根岸賢治

(計貳拾萬円)

方南北地区

一金壹萬円

細井直子

(計貳萬円)

和田東地区

一金伍萬円

亀澤大介

松ノ木地区

一金壹拾伍萬円

江藤昌広

一金貳萬円

瀬沼年男

(計伍萬円)

社務所扱

一金壹拾伍萬円

東京ウエスタン交通㈱

会長 福本敬文

ご奉賛金の勸募

一口(二万円)以上お願い致します。

尚、五口以上ご奉賛の方々には記念の石碑にお名前を刻し永久に保存させていただきます。また、一口以上ご奉賛の方々には芳名板(板札)にて受付後、随時お名前を掲出させて頂きます。

杜の話題

わかば祭り（春の大祭）斎行

若葉青葉も目に鮮やかな5月、3日より5日の3日間に亘り、わかば祭り（春の大祭）が執り行われ、多くの参拝者で賑わいました。まず、4月29日、昭和天皇のご聖徳をお讃え申しあげる昭和祭が斎行されました。次いで3日午後、春の大祭第1日ノ儀（稚児健康祈願祭）と第37回「稚児行列」が行われ54名のお稚児さんが参列しました。4日は、春の大祭第2日ノ儀を斎行。祭典の後、神楽殿にて第15回「若葉inおみや」が開催され、吉岡龍見氏・富元清英氏による尺八と箏・三絃の奉納演奏が行われました。また、第1日ノ儀には当宮挙式者の参列もあり、第15回「挙式者の集い」が清涼殿にて開催されました。午後には、植樹祭が当宮みどりの会主催のもと執行。祭典後には参列者の方々に苗木が授与されました。5日は、春の大祭当日祭（尚武祭）が斎行され皇室国家の隆昌・氏子崇敬者の繁栄と五穀の豊穡が祈念されました。期間中は、古武道武技奉納、方南エイス、杉並太鼓の奉納演奏、大宮八幡植木市等も開催。終日賑わいをみせました。



天皇皇后両陛下

御渡航行幸啓安泰祈願祭

パラオ

皇統共和国

御渡航還幸啓奉生忌祭

天皇皇后両陛下には終戦70年にあたり、去る4月8日と9日の2日間、パラオ共和国を訪問されました。これに合わせて当宮では御渡航の御安泰を祈願し、4月7日に天皇皇后両陛下下帛琉共和国御渡航行幸啓安泰祈願祭を、4月10日には天皇皇后両陛下下帛琉共和国御渡航還幸啓奉告祭を宮司以下祭員奉仕により中祭にて斎行。また、8日、9日両日の朝の日供祭では、御渡航のご安泰を祈願申し上げました。



第16回 裏千家献茶式

第16回「裏千家献茶式」が5月16日に行われ茶道裏千家今日庵、鵬雲斎、千玄室、大茶宗匠（先代15代家元）ご奉仕のもと、厳かにご神前に濃茶と薄茶が献じられました。また併せて、裏千家淡交会東京第6東支部の担当主催による奉賛添釜茶会が早朝より開かれ、濃茶席・薄茶席・立礼席の3席が設けられ賑わしく催されました。大宮幼稚園では恒例の幼稚園茶席が開かれ緊張した面持ちの園児たちが、日頃の練習の成果を披露しました。尚、初回からご指導頂き、献茶式にも欠かさず参列されて



おられました塩月彌榮子（宗孝）先生が、3月にご逝去になられました。幼稚園席にご遺影をお飾りして感謝の心を捧げました。

杉並区宗教者懇話会

靖国神社正式参拝

今年の大東亜戦争終結70年の節目にあたり、杉並区宗教者懇話会（代表幹事当宮宮司）では、靖国神社参拝を企画しました。去る5月18日の午前9時30分、同社参集殿に区内の神道・仏教・キリスト教・新宗教の諸宗教者27名が集合し、徳川宮司様のご丁寧な歓迎のご挨拶を戴いた後、鎌田代表幹事の御礼の挨拶。次いで、立正佼成会国富杉並教会長の挨拶の後、全員揃ってお祓いを受け、ご本殿に昇殿し代表2名の玉串拝礼に合わせ全員で正式参拝を致しました。諸英霊の御前に額突き、感謝と哀悼の誠を捧げご慰霊申し上げると共に、不戦の誓いも新たに、世界の恒久平和を祈念することが出来ました。その後、各自遊就館を拝観して自由解散となりました。



楠の養生

神門前の楠の樹勢が弱まりこのままでは枯死の恐れもあると樹木医に診断されたため、専門家に任せて、樹勢回復の養生をする事になりました。



第15回

納涼大宮天神こどもまつり

「杜のひびきinおみや」

大宮八幡の夏の風物詩第15回「納涼大宮天神こどもまつり」が7月24日、25日に行われました。大宮幼稚園をはじめ近隣の小中学校、美術大学、一般の有志の方々より寄せられた約350点の書画行燈に夕刻より灯りが入り参道境内を照らしました。24日は直前に夕立となりました。午後5時半の宵宮祭前には雨も上がり、氏子青年会の模擬店には多くの子供たちが集まりました。翌25日は猛暑のなか、午後5時半に大宮天神祭が斎行されました。たくさんの子供たちによってこどもあかりみこしが賑やかに境内を巡り、神門前広場では子供ミニ花火の集いも行われました。午後6時半より杜のひびきinおみや（時間を



はずした日の神事）が開演。和太鼓の響道宴氏による奉納演奏で、第15回を記念して今年は津軽三味線や狂言師・ダンスチームに加え電気フリカケ（コンピュータ音楽）といった個性的なメンバーと迫力のある和太鼓のコラボレーションが鎮守の杜に響き渡りました。



第17回 平安の七夕乞巧奠飾りと 平成の七夕大宮八幡乞巧潜り

平安の七夕飾り乞巧奠が7月1日より15日まで清涼殿で展示公開されました。乞巧奠は古代中国の牽牛織姫の星祭り伝説とわが国の柵機つ女伝説が結び付いた行事です。7日夕刻には社殿にて七夕の神遊び（技芸上達祈願祭）が斎行されました。次いで、神門前に設けられた梶の葉に七夕人形、五色の吹き流し、五色の布を垂らし



「国旗のある自由画コンクール」 金銀賞入選作品展

国旗制定記念日の1月27日、国旗協会主催の幼稚園園児、小学生対象の「国旗のある自由画コンクール」入選者の発表がありました。6月19日から7月8日までの間、当宮神門北翼廊ブルーボードにてその金銀賞入選の作品展（巡回）が開催されました。今回金賞には大宮幼稚園園児の作品も入賞しました。



こどもあかりみこし



子供ミニ花火の集い

大祓形代流し旅行

夏越の大祓で収められた形代を灰にして流し清める形代流し旅行が7月26日、27日の両日に亘り行われました。今年は、30名の参加で、信濃國一ノ宮として全国一万余の諏訪神社の総本社として知られる諏訪大社上社（本宮）を参拝。伊那地方の名所旧跡を巡りました。天竜川にて形代流し神事を斎行して、昼神温泉に宿泊。伊那の山々を眺められる露天風呂で、日頃の疲れを癒し、地元旬の料理で信濃旅情を満喫しながら親睦を深めました。



多摩清水社例祭

8月1日の水の日、葉月朔旦祭に続いて多摩清水社例祭（水神祭）が斎行されました。「広き野に霊の清水のあるところ」と俳人阿波野青畝に詠まれ句碑もあり「多摩の大宮」といわれていた武蔵野の昔を想望してつくられた句で、今も湧き出ている御神水に感謝致しました。

「申」の二字揮毫軸一幅奉納

書画を通じ国際親善で多くの国々を巡り、「日本の祈りの心」を広め伝える書画家小林芙蓉女史が、8月1日、神楽殿にて掛軸に「申」の一字を揮毫奉納されました。拝殿にて修祓ののち神楽殿に移動し、まず言霊の武道と良久、前田比良聖氏による「言霊剣の祓」があり、次いで石笛奏者の笛の音色に合わせて大筆により渾身の力を振り絞って白掛軸に「申」の一字が力強く揮毫されました。次いで書は神前に献じられ、約120名の参列者とともに揮毫奉納奉告祭が斎行されました。尚、揮毫するにあたり多摩清水社の御神水が使用されました。



第32回戦没者慰霊祭

大東亜戦争終結70年の今年。氏子区域より出征されたご英霊等をお慰める第32回「戦没者慰霊祭」が8月15日、清涼殿特設会場にて斎行されました。今年も全国戦没者追討式に合わせ正午の時報を合図に黙祷、次いで祭典を奉仕、当宮と兼務社の氏子のご英霊329柱に感謝し、慰霊と追悼の誠が捧げられました。

りんどう会だより

清掃奉仕

当宮敬神婦人会（りんどう会）は昭和祭前の4月27日、わかば祭りを迎えるにあたり御垣内清掃奉仕が行われました。会員らの手により掃き清められ、拭き上げられました。秋は9月9日（水）に行われます。

水無月書写会

6月29日、総会を開催。総会後には七夕飾りや乞巧奠飾りに飾られる可愛らしい小物作りに熱中しました。また、大宮八幡塾水無月書写会が6月20日から28日まで神社と共催で行われました。清らかに心を込めて書写された大祓詞をご神前に奉納し大神様の大機威を頂くもので30日の大祓神事に続き、今回は67巻の大祓詞が神前に奉納され大祓詞浄書奉納奉告祈願祭が斎行されました。また、会員の奉仕により大宮幼稚園園児等手作りの飾り一つ一つ丁寧に小笹に飾り付けた「福笹」約300体は大祓参列の方々に授与されました。



氏子青年会だより

永代神社例祭参列

5月29日午後、東村山市の国立療養所多摩全生園の園内に鎮座する永代神社の例祭に、鎌田会長、小松・山本・長澤各役員と提箸事務局長が参列。中畝典仕が浦安の舞を奉奏しました。



7月24日、25日の「納涼大宮天神こどもまつり」に模擬店を出店しました。両日も、焼きそば・かき氷等が飛ぶように売れて、スパーボールすくも盛況でした。

大宮八幡の杜

秋も深まり

第37回杉並大宮菊花展

杉並大宮菊の会の主催による杉並大宮菊花展が10月中旬より開催されます。菊の会は、杉並区内外在住の菊愛好家の方々により組織され、丹精込めて作られた様々な菊花の大輪の作品が境内を彩ります。又、七五三の文字菊は当展特別のもの



神符奉戴式を斎行

11月初旬には、神宮大麻頒布式並びに氏神神社神符等奉戴式が斎行されます。ご神前において大宮大麻・三宝荒神などの御神札に御神霊をお遷しし、神宮大麻と併せて頒布始めの旨を大神様にご奉告いたします。各ご家庭や会社の事務所の神棚に、神宮大麻や氏神様の新しいお札をお祀りして、清々しく平成28年の新春を迎えましょう。



毎月・お朔日参りを致しましょう

毎月1日 朔旦祭
毎月15日 月次祭
毎月25日 大宮天神月次祭

（ご自由にご参列下さい）

秋の豊かな実りに感謝

新嘗祭

11月23日の「勤労感謝の日」、新穀を神前にお供えし秋の収穫に感謝する新嘗祭が、午前9時より斎行されます。このお祭りは五穀豊穡を祈る春の大祭と対をなすお祭りで、宮中を始め全国津々浦々の神社で行われます。当宮では、大宮幼稚園の稲田で園児たちが丹精込めて植えてた稲穂を始め、氏子・崇敬者や企業よりたくさんの新穀・神酒、野菜・果物などが奉納され庭積神饌としてご神前にお供えされます。



第25回杉並花笠祭り

第25回「杉並花笠祭り」が来る12月12日（土）に、サミット株式会社と当宮の主催、山形県などの後援で開催されます。当日はまず、杉並花笠祭り開催奉告祭を斎行、その後御神酒の鏡開きや花笠踊りのパレードが奉納されます。表参道では芋煮や地酒が無料で振る舞われ、山形特産の農作物などの露店が立ち並び3万人を超える参拝者で賑わいます。



秋の大祭後の主な祭典行事

10月21日、11月23日、11月上旬、11月15日、11月23日、12月23日、12月31日、平成28年1月1日、1月2日、1月3日、1月15日、第37回杉並大宮菊花展、新年度神宮大麻頒布式、氏神神社神符等奉戴式、月次祭並七五三祝祭、新嘗祭、第25回杉並花笠祭り、天長祭、大祓（年越大祓）、除夜祭、歳旦祭、小笠原流臺目の儀・大格式元始祭、古札焼納祭（どんと焼）

戌の日詣りは

子育八幡さまの当宮で安産祈願のご祈願を！

（※戌の日以外にも随時お受けしております）

ご祈願の方には大宮八幡息長帯（岩田帯）と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康にこの出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「母子緒守」と「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。



戌の日早見表

1月	12月	11月	10月	9月
5日(火)	12日(土)	6日(金)	1日(木)	7日(月)
17日(日)	24日(木)	18日(水)	13日(火)	19日(土)
29日(金)		30日(月)	25日(日)	

（平成27年9月～平成28年1月）

祝七五三詣

七五三年齢表
七歳 女児 平成21年生
五歳 男児 平成23年生
三歳 男・女児 平成25年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。満年齢でお受け頂いても差し支えございません。

七五三レンタルプランご予約会

ご予約会日：毎日朝10時～夕方5時まで開催

お子さまの健やかな成長と幸せな未来をお祈りする七五三詣。晴れの日を迎え、お子さま自身もひとつ大人になったという誇らしさ、可愛らしさで胸を一杯にすることでしょう。だからこそ、大切な記念日を家族皆さまの大きな愛で素晴らしい一日にしてください。

大宮八幡宮で全てをお決め頂ける展示ご予約会のご案内です。七五三のお祝い当日も同じ会場で実施致します。熟練のスタッフが参拝される皆様の大切な記念日をお手伝いさせていただきます。

平成28丙申年「新春初祈願」のご案内

当宮では、平成28丙申年の新春にあたり、皆様のご健勝・ご繁栄をお祈りする新春初祈願を1月1日午前0時より連日随時ご奉仕させて頂いております。11月末頃より受付致しておりますので、授与所へお申し出下さい。また企業や団体関係の皆様には、仕事始めの1月4日より、ご参拝日時のご予約を承っております。年の初めに、社員・ご関係の皆様お揃いで八幡大神様の御神徳を戴かれ、新しい年が幸多きご発展の年となりますようお祈りさせて頂きます。

岩崎陸斗	鈴木豪太	グレイ健	松本和真	永濱すみれ	松澤拓海	脇内飛聡	田村優芽	宮崎佳子	高木将之	今谷朔太	福井達晴	樋野浩ノ介	松尾海音	野木森啓	八代隆資
五色濃驅	土倉千佳	杉浦旭飛	赤崎順弥	井上望	湯浅斗和	水藤達巳	川上瑛翔	伊藤藤次郎	浅野杏央	横田鈴	島内俐直	樋野浩ノ介	松尾海音	野木森啓	八代隆資
中山高大	阿部和都	岩橋慧	中村美結	佐々木海翔	森紇希	瀬尾一平	久保美咲	後藤舞里歌	佐藤純也	金子陽弥	山内駿史朗	佐々木和紀	長田善	山田泰悠	吉川虎太郎
伊藤朔	北田理桜奈	尾崎すみれ	中村莉緒	小野真司	有田祐	口野なお香	黒川愛莉	石原陽向	田中莉咲	木村優吾	浅井達裕	鈴木優志	中島佳那	飯塚慶祐	榎本玲大
成田遥輝	藤原萌生	鈴木士郎	鈴木隆紘	武中遼太	齋木雅斗	奥田貫史	長谷渚	大貫凌介	出水菜々子	山本莉都花	青野美緒	小野隼輝	宮地彩瑛	西玲緒奈	飯倉理歩
登智遥	甲斐あおい	小島あかり	星真桜花	井村勇翔	竹田拓生	江川絢音	井川公介	石橋らん	平沼陽菜	山本麗太	芝山遥己	浅野花歩	小林葉奈	武居里佳	高橋聡太郎
廣藤海明	鈴木日咲乃	横天莉	中谷壮志	西村彰人	渡邊香緒	富永真悠子	鈴木棧二	恩庄	喜名紗良	八高璃奈	川井昇一	浅野花歩	小林葉奈	武居里佳	高橋聡太郎
大熊春花	桃蘭達朗	春口祥雲	中村直	于琴子	米澤曜	宮穂風佑	恩庄	太志	夫津木依史	沼崎凜奈	立花純	戸河里茜	小松英里奈	増川援也	高森海里
越野綾太	金子紡和	伊藤誠	高野遥翔	清水すみれ	小鮎虎太朗	中鉢梨愛	河波光	山下千晴	浅井樹	岩本陽楠	岡本阜汰	須永彩月	中野晴	都筑晴仁	小川陽平
金子もあな	大島佳弥乃	アイザック	浜渡徭翔	宮内良之助	古原結美	三木涼介	餘家光	原琴音	井口誠梧	飯塚優奈	須永彩月	櫻井ゆずな	中野晴	都筑晴仁	小川陽平
松田航一郎	金井美希	清水杏莉	下地晃史郎	伊藤恭佑	川幡彩良	定方智也	石澤燈	高久朋花	遠藤ひなた	長山朔久	櫻井ゆずな	中野晴	山田紗衣	伊藤遙人	桑島康輔
森田珠央	中島航	中澤遥義	松原遥香	網本彩那	戸田富貴	水澤旺亮	大脇充稀	杉山潤	綱川凛花	平松凜乃	綱島遙香	山田紗衣	伊藤遙人	桑島康輔	佐藤蒼真
中川結智	師岡春希	石本道基	國藤永美里	杉山紗也佳	塚原晴乃	久保輝真	中川節晴	岡田あこ	綱川愛花	瀬戸口倉汰	関平良	徳矢紗羽	伊藤遙人	桑島康輔	佐藤蒼真
松尾桂次朗	佐々木詩乃	八尋玲菜	武石月花	石川侑太郎	原島優奈	白井湖春	串田航	久保結奈	里古葵葉	徳永惇人	大野穂花	川村洸	伊藤遙人	桑島康輔	佐藤蒼真
佐藤温斗	阿部ひかり	池内瑠梨	横田莉沙	鬼頭杏奈	伊藤音絢	箕輪碧惟	寺田優好	西紋望結	渡邊琉斗	大富朝々果	前原理緒奈	永澤豊	野並詩織	加藤匠人	山本梨紗
新實航	萱嶋明里	本田晃大	樋田悠	皆川諒太	水本学	福岡葉月	鈴木一翔	酒井遼佳	柄本維心	高柳花凜	澤崎ひなた	櫻井絢友	林連哉	丸山毅	宇野翔太
平野結雪	児玉衣織	齋藤康太	松澤碧久	大石那奈	植田航	田淵快一	丹羽真南佳	高木奏介	堀田耕乃介	黒子咲良	内田未来	櫻井絢友	林連哉	丸山毅	宇野翔太
花之内将貴	吉田龍生	井口未央	片野涼太	上者加歩	佐藤ほのか	廣住壮一郎	内田美羽	雨宮市佳	佐々木芽唯	中西優舞	大賀隆之	石山美桜	中原悠作	森中周	橋詰英
伊藤花	小野ひかり	伴野友香	長岡里奈	御崎千紘	川上晴大	山本陸央	岡田茂将	五十嵐心美	川崎結萌	山本谷若菜	武田翔	中原悠作	森中周	橋詰英	宇野翔太
渡邉利穂	加地琉晟	石井琴子	松井達実	後藤俊	杉田日和	澤田かずみ	西村咲良	角謙心	吉野紗綾	山口葵子	天野純花	田中翔太	相川悠	安達汐理	内藤来実
二宮優奈	中村凌也	清水咲良	渡部晃大	阿部桜子	前中優里佳	眞口文寧	角謙心	角謙心	小泉颯太	信末遥花	堀川遥明	佐々木菜美	相川悠	安達汐理	内藤来実
末友貴之	則武樹依	中尾菜々子	小林拓真	保戸塚紗良	谷山結人	堀崎之祐	水上結里愛	荻原碧惟	角田裕太	井上日々々	千代田花奈	山邊舜平	松木優希	片桐日々人	木下裕太
内藤尊敏	丹治雅陽	小川芽衣	福田瑛士	掛樋風	山田彩音	山田哲久	佐藤飛飛	中山桃萌	米原彩矢	黒田雄惺	木代結萌	中山心都	佐藤瑛奈	宮城大晴	堀内環希
村田望藍	三水遥記	西美咲	福田彩葉	道解天眞	今津桜	厚川遥翔	佐藤飛飛	渡邉翔大	浅野歩岳	楠本顕大	佐竹倫太郎	大平花歩	石濱蒼羽	森陽彩	大野浩樹
西園泉之介	三塚大遥	川上律	松田和歩	宮崎紗奈	芦澤陽	宮本壮真	栗本瑛大	鶴巻さくら	寺岡恵麻	門間佑海	菅野晃陽	押木湊	鈴木虎成	長谷川れい	綿貫心南
内沼珠泉	永峯裕絆	岡崎弥生	松田和歩	秋葉惺	立石幸人	大森悠真	小坂侑凜	細川航聖	田中くるみ	藤井一誠	松本千歳	関根佑都	齋田えりな	赤尾明莉	頼末果太
勝美咲	大室風	細淵悠介	長野正太郎	秋葉惺	立石幸人	大森悠真	小坂侑凜	細川航聖	田中くるみ	藤井一誠	松本千歳	関根佑都	齋田えりな	赤尾明莉	頼末果太
上野紗由紀	落合航太	細沼悠	田村桐住	岩佐洗希	岩城源助	二見温	西村日彩	杉浦壮馬	小勝湊太	藤井一誠	松本千歳	関根佑都	齋田えりな	赤尾明莉	頼末果太
斉木遙	青木健彦	佐藤杏音	漆山陽音	早坂祥太郎	芳賀心春	渡邉向陽	山本みな実	貫井陽斗	福嶋まほろ	渡部太陽	青木嘉子	五十嵐美伶	加藤美帆	小池美都	内海詠音
橋本大雅	副田湧仁	大越千歳	中川結衣	田中陽菜子	西牟田大翔	山崎希心	西澤陸翔	鴨志田紗良	濱西菜	田留愛子	小田龍輝	小梅川麻季	松本玲	末永詞子	小島千弦
北爪結花	松田彰治	瀬尾結翔	樋渡永貴	田中晴一郎	北御門陽咲	小野寺美心	山口眞花	若林楓佳	岡田彩良	村松瑛都	佐藤璃子	野口杏奈	北村寅之助	島隆之助	倉嶋あおい
飯石りお	湯田瑞月	前田葵和	志賀禮太	眞下陽馬	山本康太	相山叶羽	佐藤来海	今村忠晴	平林由豊	彌勒地俊太	中鳥奏太	中浦葵	塚原日香里	齋藤澄晴	齋藤結花
竹内春	北川結	上野陽大	上原直士	加山愛彩	杉田瑚子	大幸直司	蓮池瑠子	馬嶋高也	北野遙佳	片桐静里歌	富田琉加	石原結衣	柊内翠	平田風晴	阿崎佳
河本桜花	渡邊春聖	中原寿人	井上真帆	加藤宗佑	田中みつぎ	福原楓	原科義都	齊藤しずく	木谷柚貴	宮本侑梧	柴田創一	清水晴斗	榎原海晴	清水晴斗	乾真人
中村和真	宮崎悠希	村田拓人	近藤優衣	貝谷草祐	石井千尋	倉重璃乃	栗津原芽依	渡邊湊登	松本依心	未弘一葉	柴田陽樹	杉下真子	澤田伊織	曲里莉琴	重田彩陽
飯田悠之	斎藤駿太郎	古川楓恋	菅原礼	佐藤碧音	福嶋優吾	阿部蒼太	濱田紡	阿部桜	杉田慶佑	須山知宥	河西航平	福村寧々	鳥崎史華	秦琉夏	二杉芽以
上田柊	相澤心晴	峰山桜太郎	河部さくら	鈴木湊太	柿崎映太	辻野豊	伊藤ひかり	湯村絵乃香	志賀春乃	三平理裕	松本奈々	根本優月	豊岡美子	笠原快都	佐久間咲真
小関雷斗	中村柚桜	柏葉滯	江本滯	高田茜里	小野紬季	山中琉聖	河内碧	湯村絵乃香	志賀春乃	三平理裕	松本奈々	根本優月	猪瀬千佳	佐久間咲真	

初宮詣り芳名(名簿)

(平成27年3月23日〜平成27年7月25日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

新井万尋	佐伯大地	岡村みなみ	増田有紗	河野衣千花	山本弦大	片山櫻子	深山陽咲
鈴木莞	井原紗雪	中野真	石島未彩	齊藤明里	齋藤佳咲	鈴木稜	石澤恵人
小椋政輔	土方庸司	宗田百香	筒木玄	秋山陽香	氏家響己	千田真虎	吾子海惺
高岡栞	生沼弘貴	鈴木康太	瀬戸心美	岩崎まほろ	竹中葵	田中伶奈	日高修司
大沼将太	糸川実咲	望月千咲	櫻井悠人	市川栄資	渡辺風花	二宮愛梨	松井結利奈
森本碧音	渡邊沙世	金子葉	澁谷長雄	森顕百	羽田楓子	羽田野梨	武信和希
白髭凜太郎	大塚るか	石田日菜美	有川悠翔	請外枝也	竹村咲子	西尾野梨	白川風雅
木本さわ	飯田翔梧	河野いろは	左近充海和	坂口侑李	山本創介	森下吉翔	安岡心優
高田柚希	東島詩織	仲時生将	松林葵	高橋義士	山本晴奏	波野平愛莉	波岡心優
小賀坂樹	佐々木みのり	廣瀬瑠	青山美悠斗	高津啓佑	宇野紬	大島一真	駒井佑樹
宮方桃花	木戸ななみ	野上公櫻	一色悠生	熊野晴乃	伊藤沙咲	池長慶悟	大西利哉
藤井直央	宮坂彰吾	清水陽介	今井奏二朗	伊藤沙咲	伊藤沙咲	藤岡美喜乃	久米翔
荻嶋勇志	内藤綾人	金子葵	赤塚ゆい	四本大河	川崎想太	辻真寿	岡野誠大
濱田里紗	長谷川篤斗	月呂陽大	新谷厚人	鎌田晴輝	大西礼央	高野祥祐	鈴木菜優子
酒中歩子	平野真穂	茂木勇人	窪田花梨	早川柚也	橋本奏太	土田怜佳	都坂真秀
小林灯希	中村昇磨	橋本優柊	石田智琢	竹内瑞貴	安岡橙李	今泉權成	佐治柚花
岩崎匠眞	吉田知慈	中川沙希	三宅晴人	澤田伊都波	北田杏璃	長谷部新	長谷川亮太
奥田佳乃子	和田継人	木村玲菜	壽山椿	界瀬那	屋代明里	柵屋快斗	歌野恵太
平山結香子	細小路拓真	若林未桜	高橋樹璃	内山眞	野澤舞花	古元ななみ	猪股音心
星野あかり	船津源太	野崎惇平	武井茉優	藤原悠華	藤原優音	仁平侑花	佐々木菜緒
合田航	金子朔汰	太田佳	東郷隼	藤原悠華	新井優音	高橋周平	松澤美春
政岡結介	保坂慈希	坂入舞	高田稀斗	新井優音	藤田晴之	井田翔太郎	小檜山響
西形仁汰	小林知世	横田開	河西智仁	藤田晴之	吉田桜菜	佐藤琴音	鈴木黎
大橋いのり	松沢陸	船生そら	高木誠	島田凜	渡邊里玖	高島隆成	嶋田梨乃
梶川陽菜子	宮田悠生	荒木理臣	中路	忠本良太郎	佐野路	向山慧	菅澤慧悟
福井恵達	油野翔太郎	大竹新	塚原遥香	師岡瑠璃	末松祐奈	阿部紘己	佐藤あかり
大平茉白	館野真希	櫻井瑛斗	村島湊翔	村瀬唯	植田有雅	渡口縁人	森脇亮太
大柴瑠利	江越通香	畑中千紘	井上朝陽	小池陽葵	植田詠郎	溝口琳太郎	木村華
菊地湧子	井上弓磨	横沢実菜	石井菜羽	大石すみれ	山下怜果	加藤祐介	柴崎晴
藤岡慶護	岩田望夢	中島芽衣子	安藤大智	楠奈々	上田絢信	高田鈴太郎	板橋祐之介
嶋田百恵	渡邊梨花	上野芳樹	昆瑛太	宮田理史	山崎百合香	時数友佐	石川亮介
佐々木智弘	宮下桃美	遠藤壮介	谷口瑛汰	楠奈々	上田絢信	別所楊田	一ノ瀬真輝
古井小華	寺尾仁	武田彩瑛	加藤碧生	池田紗良	小林弥月	城戸みらい	福本彩良
原文彦	谷田部詩麻	山下まゆ	大島睦生	針貝明須篤	小林めぐる	工藤湊人	二神達哉
東弦兎	野澤つむぎ	清水陽	高橋李名	ドラフヤー	稲田早希乃	藤田ゆの香	栗栖麻衣
竹内美花	加藤文太郎	山中優里奈	佐原和花奈	佐古ゆずは	守屋昂輔	酒井翔太郎	五條敦朗
阿部立佳	加藤葵良	加藤葵良	佐原和花奈	大庭碧起	生稲瑞夕	土屋芽衣	富永将大
				伊東紗英	山田璃空	大野純怜	米田弥咲
				中路虎太郎	水戸部六花	青木愛菜	岡本湊人

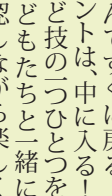


年中組 エアドリーム

夏休みが終わると、幼稚園は運動会に向けての練習二色となり、とても賑やかになります。年中組にとっては2度目の運動会。今年度はステップアップして、楽しみながらみんなを力を含ませて頑張りたいと思います。年中組では、体操の先生とのエアドリームの練習が6月から始まりました。年少組の時に見た大きなエアドリームが膨らみ形を変えていく姿や手をしっかりと伸ばして引く張っている年中組の姿に、「すごい!」「すごい!」「すごい!」と目を輝かせていた子どもたち。「年中さん出来たんだよね!」と、どの子どもも憧れの気持ちを持っていてのホールでエアドリームを見ると、「やったあ!」と、とても喜んでいました。



いよいよ練習が始まって、最初はエアドリームを上からしっかりと持ち引く張る事と、技の準備をする際に行う忍者座りを教わります。左足を立てて、おしりを上げる忍者座りは、バランスを取るのが難しくよく返してしまいうもいいたので保育室でも繰り返し練習をしました。エアドリームは、一人だけが頑張っても膨らまず、クラス全員で力を合わせて行うからこそ大きく膨らみ、色々な技を行うことが出来ます。風船は、4歩



進んですぐに戻る!
テントは、中に入る!
など技の一つひとつを
子どもたちと一緒に
確認しながら楽しく
練習に取り組んでいます。

練習を通して、一つ出来た事が子どもたちの自信に繋がりと、次の練習への意欲となつていきます。時には叱咤激励する事もありますが一生懸命取り組む姿に胸がいつぱいになります。運動会当日は、『輝け』という曲に合わせてエアドリームをご披露します! みんなで力を合わせて頑張る姿そして心も体も大きく成長した子どもたち一人ひとりの輝く姿をお見せするのを私自身も楽しみにしています。



教諭 青木 千恵

結婚式挙式者芳名(敬称略)

(平成27年4月1日〜平成27年7月31日)

ペロペイ	エドアル・	アブド	フナラビ・
シャルレ・	吉野夏織	真木奈央子	
佐藤メリネ紫			
飯塚洋・薫			
渡邊愛・真梨子			
大橋徹也・めぐみ			
鎌田匡彦・哲子			
河本貴雄・秋子			
甲木竜平・昌子			
三宅勝仁・真琴			

大宮八幡祭り(秋の大祭) 9月15日・19日～21日

例祭 [15日 午前10時]



神社本庁よりの幣帛をご神前へと共進



皇室国家隆昌と氏子崇敬者の安泰を祈り祝詞奏上



神楽「浦安の舞」奉奏

氏子奉幣祭 [20日 午前10時]

第30回 神輿合同宮入り [20日 午後6時]



奉幣使 氏子幣を奉じて参進



江戸消防記念会第9区8番組による木遣り奉納



9基一斉の神輿振り

氏子町会神幸所

大宮地区

大宮宮元會神幸所

方南地区(南・北)

峰睦会神幸所

新栄若睦会神幸所

泉南睦神幸所

方南西神幸所

方南東神幸所(上)

方南東神幸所(下)

(峯栄会神幸所)

和田地区(東・西)

和田睦会神幸所

和田敬神会神幸所

和田仲組神幸所

和田南神幸所

和田東神幸所

松ノ木地区

松ノ木睦会神幸所

奉納神賑行事



献華いけばな 小原流展 [18～21日]



園児民謡踊り [19日]



杉並太鼓 [19日]



野点茶会 [20日]



舞楽 [20日]



小笠原流草鹿式 [20日]

大 宮 第103号
平成27年 秋の大祭号

平成27年9月1日発行

大宮八幡宮社務所

〒168-8570

東京都杉並区大宮2-3-1

電話 (3311)0105 FAX(3318)6100

Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp